

【上大津地区全体の適正配置について】

1 検討委員会におけるこれまでの協議経過

- 上大津地区小学校の現状と課題の整理を行う。《第1回検討委員会（H29.11）》



- 「土浦市立小学校及び中学校適正配置等基本方針」に基づき、適正配置に向けた方策（隣接する学校との統合、学校の再編成・新設、通学区域の見直し）による様々な具体的なシミュレーションを実施する。《第2回検討委員会（H30.2）》



←..... 4小学校での統合は過大規模（各学年6学級、計36学級）である。

←..... 常磐線の横断は子供達の通学の際などの安全確保上望ましくない。

- 今後も適正な教育環境維持が可能な神立小学校を除き、上大津東小学校、上大津西小学校、菅谷小学校の諸問題を解消するための適正配置を行うこととする。《第3回検討委員会（H30.7）》



←..... 子供達を取り巻く教育環境や通学にかかる負担について検討をする。

←..... 施設整備にかかる経費などについて検討をする。

- 3つの視点（適正規模、行政に関する課題、教育上の課題）より、候補を以下の3案とし、引き続き検討を進めることとする。《第4回検討委員会（H30.10）》

- ・神立小学校を除く3小学校を統合し、その統合先を上大津東小学校とする。
- ・神立小学校を除く3小学校を統合し、その統合先を土浦第五中学校付近とする。
- ・神立小学校を除く3小学校を統合し、その統合先を土浦第五中学校隣接とする。
（ただし、土浦第五中学校の施設の一部（プール、体育館及びグラウンド）を共用とする。
なお、新校舎にも小体育館は新設する。）

2 上大津地区全体の適正配置の今後のスケジュール（案）

平成31年6月 上大津地区全体の適正配置の方向性決定（最終提言）

平成36年4月 上大津地区小学校適正配置の実施（目標）